

Contents

- 県連合会Letter 2-3p
 - ・ 正副会長会・理事会
 - ・ 商工会巡回訪問
 - ・ 金融審査委員等講習会
 - ・ 事務局連絡会議
 - ・ 女性部近畿大会（兵庫県開催）
 - ・ 青年部近畿大会（滋賀県開催）
- あなたのまちの元気な企業・吉川町地域情報 4-5p
- 商工会Letter 6-8p
 - ・ CCコラム（南あわじ市・仲井英樹氏）
 - ・ 職員研修会
 - ・ CC研修会
 - ・ 事業再構築補助金等 活用事例紹介（宍粟市）
 - ・ 新規採用職員の紹介

2021.10.20
第756号

兵庫県 商工連会報

偶数月20日発行 定価1部60円 発行人:兵庫県商工会連合会 代表者:志智宣夫 発行人住所:〒650-0013神戸市中央区花隈町6番19号 TEL.078(371)1261代
http://www.shokoren.or.jp/ 編集人:幸田 徹 印刷所:有限会社浜田デザイン写植 会員の購読料は会費に含んでおります



▲左から順に、兄の西山^{ゆきなり}幸成氏、姉の小野あかね氏、西山^{みかり}牧場 代表者の西山農氏。

三木市吉川町

あなたのまちの元気な企業

家族一丸で

6次産業化を实践!

西山牧場

西山牧場は、三木市吉川町で酪農を営みながら、搾りたての生乳を使ったアイスクリームやチーズなどに加工・販売するとともに、ピザレストランを経営し、6次産業化を实践している。

小規模な家族経営だからこそ自らが生産・加工・販売活動の全てに関わることができ、商品のことなら何でも分かる。その商品の良さをお客様に伝える手段として「牧場体験」や「アイスづくり体験」などの体験メニューを販売と組み合わせ、付加価値の高い経営に繋げている。

現在、兄と姉がチーズ工房とピザレストランを担当し母のサポートも受けながら経営している。（詳細は4頁）

Points



▲牛の体調や餌まで把握しているからこそ、自信をもってお客様に商品が提供できる。

初のオンライン開催 第2回正副会長会・理事会 〈県連合会〉

9月27日、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出中のため、第2回理事会をオンラインで開催した。当日は、協議事項として次の4議案を上程し、いずれも原案どおり承認された。

●第1号議案 記帳事務機械化手数料徴収規約の一部改正について

●第2号議案 兵庫県政および令和4年度商工会関係予算に対する要望について

●第3号議案 令和3年度商工会幹部研修会の開催について
●第4号議案 顧問の委嘱について



▲メイン会場の県連合会からZoomで配信する様子

この内、第3号議案では、令和3年度商工会幹部研修会を10月25日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催することを決定した。同研修会は、例年、宿泊研修として実施しているが、昨年度はコロナ禍のため中止となったもの。今年度は、感染症予防対策を講じた上で、集合型で開催する。

また、第4号議案「顧問の委嘱について」では、井戸前知事に引き続き、齋藤新知事に顧問を委嘱することを決定した。

なお、これに先立って、9月14日、「第2回正副会長会」をオンライン会議で開催し、理事会提出議案等について協議した。

商工会の状況を聞き取り 令和3年度商工会巡回訪問

県連合会では、商工会の健全な組織運営により商工業の振興に寄与することを目的に本年度は7月21日から県下28商工会を訪問した。

特に、労務状況や不祥事の再発防止策、マル経融資の指導状況などについて重点的に話を伺い、組織運営の適正化に向けたお願いを行った。

コロナ禍の金融情勢と 監査方法を学ぶ 金融審査委員等講習会

8月4日、「令和3年度金融審査委員等講習会」を開催した。

金融情勢を的確に認識し、慎重かつ公正な審査体制による本制度の適正な推薦および運用を行うこと目的とした講習会で、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となった昨年度から二年越しの開催となり、金融審査委員や事務局長等57人が参加した。

日本政策金融公庫神戸支店・竹村事業統轄より、コロナ禍における公庫の現状をご講演いただいたとき、県下商工会管轄の各支店事業統轄より管内の状況をご説明いただいた。

次に、神戸支店・多田融資第二課長より、マル経融資の現状および推薦上の留意点等について説明があり、コロナ禍で日々かわりゆく金融情勢やマル経融資の活用方法について再確認できた。



▲県連合会から配信をする様子

ZoOmによる オンライン開催 第2回事務局連絡会議

9月29日、第2回事務局連絡会議を緊急事態宣言が発出中のため、オンラインで開催した。

商工会巡回訪問のまとめをはじめ、各種補助金の採択状況や不祥事再発防止の徹底、県の行財政運営方針の見直しの実施などについて県連合会が説明した。

また、意見交換はスムーズな進行で活発な意見交換を実施することができた。

11月のこよみ

- 5日(金)~6日(土) 壮青年部研修会
- 8日(月) 監事会
- 10日(水)・17日(水)・24日(水) 販路開拓・販売促進研修会
- 11日(木) 全国大会
- 19日(金)~21日(日) ニッポン全国物産展

12月のこよみ

- 2日(木) 県青連 正副会長会・理事会・防災部会
- // 青年部・女性部55周年記念大会合同委員会
- 3日(金) 事務局連絡会議
- 6日(月) 人事管理委員会
- 7日(火) 正副会長会
- 14日(火) 理事会
- 21日(火)・22日(水) 税務研修会

兵庫信用金庫	姫路信用金庫	播州信用金庫	日新信用金庫	西兵庫信用金庫	中兵庫信用金庫	但馬信用金庫	但馬信用金庫	神戸信用金庫	淡路信用金庫	尼崎信用金庫
--------	--------	--------	--------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	--------

「しんぎんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫 ATM での入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部の ATM は除きます)

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。



ご融資の相談は
お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずねください。

いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合
けんしん

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
https://www.hyogokenshin.co.jp/



近畿ブロック商工会 女性部交流会 兵庫県でハイブリッド開催 〈県女性連〉

近畿ブロック商工会女性部交流会を今年度は兵庫県が主管となり、9月7日、ホテルクラウンパレス神戸で開催した。

緊急事態宣言の発出に伴い、当初の計画から大幅に規模を縮小し、YouTube Live配信を併用したハイブリッド方式により開催した。来場出席者は発表者・各府県会長等31人で、ライブ配信においては、近畿各府県から最大147アカウソントの視聴による応援があった。



▶開会式で挨拶をする全女性連・竹中会長(上)、兵庫県女性連・安積会長(下)

主張発表大会では、近畿各府県の予選を勝ち抜いてきた7人の女性部員による発表があった。本県代表として神河町の谷総千恵子氏が「心を繋げるスイーツ」をテーマに発表した。



▲兵庫県代表として発表をする谷総氏(神河町)

審査の結果、最優秀賞は福井県池田町商工会女性部の杉早苗氏、優秀賞は滋賀県瀬田商工会女性部の平田愛子氏が入賞した。続く講演会では、コア・サポート株式会社黒野氏を講師に招き、「SDGsとこれからの女性部活動について」と題し、講演いただいた。出席者からは、「早速、女性部活動に取り入れていきたい」と等の前向きな感想があった。



▲最優秀賞を受賞した、杉氏(福井県)

近畿ブロック商工会 青年部交流研修会・ 主張発表大会 〈県青連〉

9月30日、近畿ブロック商工会青年部交流研修会がYouTube配信にて開催された。

当初は9月2日に滋賀県にて来場型で開催を予定していたが、滋賀県初の緊急事態宣言の発令に伴い、開催日を改めて完全オンライン配信となった。

開会式で行われた顕彰者表彰では、ネットワークづくり部門で新温泉町商工会青年部の西村慎太郎氏が表彰された。

その後、各府県大会を勝ち抜いた7人の発表者による主張発表大会が開催され、本県からは丹波篠山市の谷舗氏が出場。

審査の結果、最優秀賞は福井県の北川将成氏が受賞。谷舗氏の全国大会出場は叶わなかったが、多くの部員が画面を通じて応援した。



▲自身の経験を力強く発表する本県代表の谷舗氏(丹波篠山市)

また、今年度は4府県から商人ネットワークの出場があり、本県からは三田市の(株)クリーニング・センターおさきが出場した。

審査の結果、本県代表と(株)助電気(大阪府)が同率で最優秀賞を受賞した。主張発表大会・商人ネットワークで最優秀賞を受賞した1人と2社は今年度の全国大会(熊本大会)に近畿ブロック代表として出場する。



▲最優秀賞を受賞した(株)クリーニング・センターおさき



会議開催録(各団体)

- 8月3日 壮青年部 合同委員会・理事会
- 8月5日 県職協 理事会
- 9月9日 県職協 正副会長会
- 9月17日 県青連 正副会長会・理事会
- 9月28日 県女性連 正副会長常任理事会

ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています

信用保証で、このまちの
中小企業・小規模事業者を応援します

兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN

〒651-0195 兵庫県神戸市中央区浪花町62-1
TEL: 078-393-3900
https://www.hosyokuyokai-hyogo.or.jp/

あなたのまちの元氣な企業

事業も地域も積極的に関わり
目が届く経営を實踐

西山牧場(吉川町)

西山牧場は昭和45年に創業し、現在は2代目の西山 農氏が代表を務め、約60頭の乳牛を飼育している。

生乳の乳業メーカーへの販売のほかに、自社の工房でアイスクリームやチーズなどの加工品を生産、それらの販売はもちろん、ピザレストランも経営する6次産業化を實踐する事業所である。



▲牧場内にアイスクリーム工房(右)とチーズ工房とピザレストラン(左)

酪農の6次産業化は、平成10年頃、収益性が低下している酪農業の今後を心配し、母きよみさんが、農業改良普及センターに相談し、その打開策としてアイスクリームの製造販売を提案されたことがきっかけとなった。責任者には、当時北海道の大学

で酪農を学んでいた農氏に白羽の矢が立った。

母から「アイスクリームの製造販売を始めるので、その勉強して欲しい」という連絡を受け、3年生からは研究室を変更し、2年間アイスクリームの製造技術を学ぶとともに、各地の人気アイスクリームを食べ歩き、独自商品の研究開発も行った。

平成13年に吉川町に戻り、姉のあかね氏の協力も得て、アイスクリーム工房BOSS & MOMのオープンにこぎつけた。

「搾りたての生乳をたっぷり使ったアイスクリームを丘陵地の牧場で食べられる」と口コミで広がり、売上は順調に増加した。また、酪農やアイスクリーム作りの体験も開始し、更に集客



▲定番の味以外にも、季節の果実を使ったものなど年間約60種類を提供している。

にもつながった。

その後、新たな加工品として、チーズの生産に乗り出し、自社商品を使った食事メニューを提供するため、平成28年にチーズ工房&ピザレストランをオープンした。平成30年には、システムエンジニアをしていた兄の幸成氏も家業に従事し、現在の経営体制となった。



▲塩分控えめで食べやすいピザ
▲モツマルゲリータ

アイスクリーム工房やレストランの運営を通じて、「お客様の口に入る商品であるからこそ、安心で安全な商品づくりをした」という思いがより強まった。そのことが、牛の飼育から加工品の製造、調理にいたるまですべてに自ら関わり、何を聞かれてもなんでも答えられる「目が行き届く経営」に繋がり、無理な事業拡大をせずに、家族一丸となり事業に携わっている。

商工会や地域との関わり

商工会との関わりは深く、長

年におよび記帳指導や所得税確定申告はもちろん、経営に関わることも随時相談している。事業計画の策定から実行までの支援なども受け、平成28年に、ものづくり補助金で自動給餌機導入による先進的酪農経営に取り組み、平成29年には、小規模事業者持続化補助金で集客のための販売促進事業を實施している。

また、地域振興についても青年部活動への積極的な参加はもちろん、期間限定で地元食材を使った特別メニューを観光客に提供する「デリシャスよかわ」の実行委員長を務め、地域飲食店と特産品の振興に大きく貢献している。

異業種交流活性化支援事業にも参画し、地元農場で採れる苺とコラボした「いちごミルク練乳」を開発し、現在商品化に向けてさらに取り組みを進めている。地域にも経営と同じ思いを寄せ、地域の事を聞かれても答えられる状況でありたいと考え、様々な地域振興事業に関わりを持つっている。

コロナによる

経営環境の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営状況は一変、外

出自粛などの行動規制から、昨年は一日の売上が数千円という日もあり、大打撃を受けた。現在は、「密集」を避ける傾向から、徐々に集客・売上ともに回復に向かっている。

しかし、新たな生活様式の変化に対応した事業の見直しは不可欠であり、商工会に相談した結果、移動販売による売上増を計画。兵庫県中小企業新事業展開応援事業の採択を受けて、移動販売車による経営力の強化に取り組みしており、成果が期待される。

今後の事業展開としては、経営理念を念頭に置き、酪農家単体では投資費用から難しいとされている「牛乳製造設備」を導入したいと考えている。

安心・安全でおいしい西山牧場オリジナルの牛乳をお客様に直接提供したいと笑顔で夢を語った。

【取材先概要】

事業所名/西山牧場
代表者/西山 農
住所/三木市吉川町豊岡427
TEL/0794-72-1026
URL/https://www.bossandmom.com/



Facebook/
https://www.facebook.com/pages/
西山牧場/216295281741601

吉川町商工会



会長 富田 孝昭
有限会社 富田
代表取締役

吉川町は、平成17年に行政合併を経て、三木市吉川町となりました。吉川町商工会は本年度、設立60周年を迎えることが出来ましたが、これを契機に地域経済を活性化させ70周年に向けて更なる飛躍を遂げていきたいと思いをします。

吉川町は、人口6,847人、会員数215事業所、職員数4名の兵庫県下で一番小さい商工会です。この小ささを武器として、「よかわ楽市」・「吉川町地区対抗親睦ゴルフ大会」をはじめとした地域に根差した事業を実施し、地域の事業所との関係を密に支援を行き届かせております。

県下で一番小さい商工会でありながら一番元気の商工会だと言われるよう、役職員一丸となり地域の活性化を図ってまいります。



吉川町商工会事業「デリシャスよかわ」
PRキャラクター よかわちゃん

地域と職員の
紹介をします。

〈職員紹介〉

No.	役職	氏名
1	事務局 長	田中正司
2	経営指導員	坪之内 康宏
3	経営支援員	長谷川 三重子
4	記帳指導職員	宮澤 照代



坪之内 康宏

平成30年4月に吉川町に赴任して早くも三年半たちました。会員さんと親しく接し、親身となり支援したいと思います。



長谷川 三重子

会員さんをはじめ、地域の皆様に喜んでいただけるように、頑張っています。



宮澤 照代

商工会に勤めて9カ月。事業者さまの記帳のお手伝いをしています。

吉川町商工会

〒673-1114
兵庫県三木市吉川町吉安246
TEL:0794-72-1406

地域情報

吉川町は、阪神地域北部に隣接し、昭和49年に中国自動車道吉川インターチェンジが開設され、昭和63年に吉川ジャンクションで舞鶴若狭自動車道と、平成30年には隣接する神戸市北区の神戸ジャンクションで新名神高速道路、山陽自動車道とも結合され、大阪方面への利便性が更に良くなり広域交通の要所として注目されている。



苺



山田錦

吉川町の主要産業は「農業」と「観光産業」の2つ。主要農産物である酒米「山田錦」は、全国各地の酒蔵で高級酒の原料として使用され、「酒米の王様」として知られる。なかでも吉川産は「特A」地区のものとして重宝され、高値で取引される。「山田錦」以外では、「葡萄」や「苺」等の生産が増加している。

もうひとつは、三木市に25か所ある「ゴルフ場」を中心とした観光産業である。その数は千葉県市原市に次いで全国2位、西日本一の数である。そのうち半分の12か所が吉川町内にある。大阪、神戸との交通の利便性の良さから三木市全体での年間入込客数は110万人を超える。



吉川温泉よかたん

その他には、平成14年のオープン当時は日本一の炭酸泉と言われた「吉川温泉よかたん」、平成16年に隣接地に物産館「山田錦の館」がオープンし、年間入込客数は60万人を超える。名所として黒滝がある。



黒滝

CCコラム



兵庫県商工連会報
あわじ市商工会長
南支課 仲井 英樹

私は、商工会入所後初めての人事異動で、令和3年4月より、南あわじ市商工会所属となり、新たな環境で刺激をいただいております。当商工会での経験はまだ6ヶ月と浅いですが、事業所との出会いと支援について書かせていただきます。

商工会は小規模事業者支援法の改正に伴い、小規模事業者の持続的発展を目的として、伴走型支援の強化や個社の経営戦略により踏み込んだ支援が求められており、実行するためには、事業者とより深く信頼関係が築けるかが鍵となります。淡路地域においても、新型コロナウイルスの蔓延により、飲食宿泊業並びに観光業を中心に大きな影響を受けている中で、老舗旅館の社長から、「コロナ後を見越し原材料にこだわった淡路特産スイーツを作りたい」との想いを実現するため活用できる補助金はないかと声をかけていただきました。

た。その頃「令和2年度補正事業再構築補助金」の公募もあり、補助事業申請に向け、計画策定のため打合せを重ね、専門家を活用して計画書のブラッシュアップを行い、本件は採択を受けることができました。この過程における事業者との信頼感の高まりと採択を受けたことによる達成感の共有が、商工会職員としての私のモチベーションとなり、新しい商工会で、会員企業のために仕事ができたと感じる何とも言えない瞬間でもありました。

私が支援者として心がけていることは、誠実に対応することはもちろんのことですが、気軽に相談できる専門家との人脈を広げ、相談内容に応じた適切に活用すること、また、事業所にとって補助金の採択は持続的発展に繋がる手段であるということを理解し、進捗を確認しながら情報提供や追加支援策の提案などフォローアップを効果的に行うことです。

これからも、新たな事業者との出会いを大切に、こうした経験を積み重ね、地域の事業者の持続的発展のために努めていきたいと思っております。

職員研修 (8月~9月)

名称	日程	講師	内容	人数
60歳到達前研修会	8月6日(金)	特定保健社労士・ファイナンシャルプランナー 長谷川 まゆみ 氏 他県連職員1名	研修Ⅰ (1)再雇用制度について (2)職員退職金共済について 研修Ⅱ (1)年金の基礎知識と定年後の生活設計について (2)セカンドキャリアプランについて	17人
IT研修会	8月26日(木)	県連合会チーフアドバイザー 中小企業診断士 稲垣 賢一 氏	Officeツールの利活用について Excel版	23人
	8月27日(金)		Officeツールの利活用について Word・Google版	19人
次期記帳機械化システム「商工会クラウド」研修会	9月1日(木) 9月9日(木)	ソリマチ株式会社 担当者	(1)「商工会クラウド」システム概要紹介、サービスの実演 (2)データ移行までのスケジュール、予定料金について	89人 (延べ)

※全てオンライン開催

研修 Pick Up

- セカンドキャリアを考える「60歳到達前研修会」8月6日
人生100年時代と言われる昨今の状況を踏まえ、定年退職前の職員を対象に、今回初めて開催。県連合会の再雇用制度、職員退職金共済を説明したほか、外部講師の講義により、年金の基礎知識他、定年後の生活設計・セカンドキャリアについて考えてもらう機会になった。
- 事業所支援を効率化「IT研修会」8月26日・27日
業務効率化のためのOfficeツールの活用、並びに事業所のオンライン支援にも活用できるGoogleドライブを用いて、演習を交えながら経営支援を効率的に行う方法を講義いただいた。

チーフコーディネーター
第1回研修会を開催

チーフコーディネーター(以下、CC)は経営支援の中心的役割が期待される。

今回の研修は「売上拡大に導いたCC自身の支援事例の紹介、そして事業再構築補助金に採択された「事業者目線」を感じる商工会の想い」等の内容で実施した。

CC支援事例については、南あわじ市商工会・大上氏によりABC分析を用いた支援事例の報告があった。

創業当初の売上は好調であった支援先が徐々に売上低下した



▲外気に触れにくい工夫がされたかき氷

ものの、同氏による的確な経営分析と提案で売上が劇的に回復、向上したという内容であった。

まずはSWOT分析を行い、ABC分析による売筋、死筋の把握を行う提案を行った。その結果、売上は約1.9倍に増加し、粗利は約7%向上した。

加えて、コロナ禍の対策として、空気に触れにくい容器に入れた持ち帰り用の「かき氷」を販売した。収益率が高いかき氷がヒットしたことで、8月は過去最高の月商額を達成したとのことであった。

コロナウイルス感染症の影響で、企業の経営環境や資金繰り状況は急激に変化し将来の不確実性が高まっている。事業の継続や再構築の観点からも現在の事業計画や資金繰りが適切であるかを振り返る機会が必要であり、現状把握の重要性が高まっている。

本事例はコロナの逆風に耐えるだけではない、攻めの事業展開を支援する好事例であった。

なお、「事業者目線」を感じる商工会への「想い」の支援事例については、7頁で紹介する。

事業再構築補助金等活用事例～補助金活用等による経営改善～

一 補助金活用等による経営改善前の状況一

株式会社山田鋳金（代表取締役：山田雅人氏）は、宍粟市山崎町で昭和50年に創業した自動車鋳金塗装業者である。経営改善までの同社は、職人・技術者の求人難による人手不足や、採算度外視の受注体制等により、長時間労働・休日出勤が常態化。「労働力不足による逸失利益を補填するための受注増。それによる更なる労働力不足」という悪循環に陥っており、利益は出せていたものの事業継続についての不安が常にあった。

一 補助金活用等による経営改善の内容一

平成28年度より、財務面や作業生産性等の分析と見直しを進め「利益率に応じた受注体制の見直し」「作業分析による人員配置見直しと機械化・標準化」を課題解決策とした。そのために、補助金活用による設備導入等を目指した。また、就業規則等の整備を進め「働きたいと思ってもらえる会社・働きやすい会社」作りも並行して進めた。

結果、ものづくり補助金、地域企業デジタル活用支援事業補助金、小規模事業者持続化補助金等が採択され、業務効率が大幅に改善され、近隣の同業他社では並ぶものが無いほどの先端設備が整った。

また、経営革新計画の承認や、事業継続力強化計画の認定も受けたことで対外的な評価も高まった。



一 取組みによる成果と今後の展開一

労働諸規程等の整備や対外的な信用が増したことにより、兵庫県立ものづくり大学校から新卒採用で2名、作業分析による人員配置見直しにより、必要技能を持つ高齢の職人3名をスポット的に採用した。

作業効率の改善や先端設備による生産性の向上により、一部門における作業工程では28.9%の労働時間が削減され、38.5%の生産性が向上した。

会社全体では総労働時間が1,700時間以上削減、1時間あたりの売上が40.9%も向上した。労働力不足による逸失利益や機会損失は解消された。

また、人員体制や先端設備が整ったことにより、新規案件として「大型特殊自動車」の鋳金塗装に着手し、業界最大手のメーカーから直接業務を請け負うことが叶った。これは先端設備が整備された生産体制や、対外的な信用が高かったことが奏功したものである。

取引が進むにつれ、更に信用が増し依頼される業務量も増していき、今までに手掛けたことのない「製造部門塗装」での受注を打診された。それに必要となる「超大型塗装ブース」の導入に事業再構築補助金を申請し、採択を受けることができ、現在は同設備の導入準備を進めている。

山田氏は、「西日本で同設備を導入している企業は有数であるため、地域内の企業にも自社設備を貸与する等で助け合いを進め、皆で宍粟市を元気にしていきたい」としている。



▲事業再構築補助金により導入予定の「超大型塗装ブース」のイメージ写真

●株式会社山田鋳金 〒671-2515 兵庫県宍粟市山崎町五十波618
TEL0790-62-6934 FAX0790-62-6938 HP <https://yamadabankin.info/>



兵庫県 最低賃金

令和3年10月1日から

【時間額】

928円

(28円UP)



▲接種会場（芦屋市）の様子

7月から、県下の8商工会で新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施した。利用した多くの会員事業所から、「事業所単体でできない職域接種を商工会で実施してもらえて感謝している」等、声が寄せられた。

**新型コロナウイルス
ワクチン職域接種
県下8商工会で実施**

兵庫県 ポストコロナ出口戦略構築事業

補助対象者

兵庫県内に事業所を有する中小法人又は個人事業者
(中小企業基本法に定める中小企業者)
※この事業では売上減少要件はありません。

補助対象事業

ポストコロナ時代の5つの課題に対応する戦略の構築等に要する次の経費(付随する備品等購入費含む。ただし、備品のみ申請はできません)

補助対象経費

- A 課題対応に向けた調査・研究活動費
- B 専門家の派遣・招聘等に要する経費
- C 社員等の教育・育成に関する経費

5つの課題

1. デジタル化(DX)の推進
2. カーボンニュートラルに伴うグリーン化の推進
3. リカレント教育の推進
4. ダイバーシティ経営の実現
5. M&A・事業継承に向けたスキルアップ、体制強化

補助金額

補助対象経費(税抜き)	補助金額
30万円超～50万円以下	25万円
50万円超～70万円以下	35万円
70万円超～100万円以下	50万円

補助対象期間

令和3年9月1日(木)～令和4年1月31日(月)
※申請は令和3年11月30日(火)まで(当日消印)

ポストコロナ出口戦略構築事業事務局

TEL 078-371-2860

※詳細はHPからご確認ください。

<https://web.hyogo-iic.ne.jp/postcorona>



令和3年度 新規採用職員のご紹介

養父市商工会



ほそみ たかふみ
細見 卓史

JAで17年、病院・老健施設で1年間勤務していました。JAでは金融、共済、農業部門で地域農業の振興、組合員様の暮らしを支えるお手伝いをし、地元密着企業として様々な地域貢献活動をしてまいりました。商工会業務は非常に幅広くわからないことが多いですが、1日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

養父市商工会



ほりしま よしこ
堀島 佳子

これまでは、養父市商工会で臨時職員、鉄道会社で経理の仕事などをしておりました。商工会の仕事は幅広くまだまだわからないことばかりですが、これからたくさんのごことを勉強して地域経済の発展に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

中小企業経営者のみなさまへ

国が準備した
セーフティネット
安心の材料を
ご提供します。

※詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

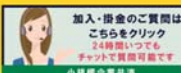
小規模企業共済制度

●制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**
小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
他にもこんな特徴があります。
●契約者貸付けの利用が可能
契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。
●共済金の受給権は差押禁止
共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。
- 2 掛金は**全額所得控除**
掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。
- 3 受取時も**税制メリット**
共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

24時間・365日
お問い合わせ可能になりました

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。詳しくは右記のQRコード又はホームページからご確認ください。

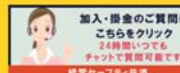


小規模共済 検索

経営セーフティ共済

●中小企業倒産防止共済制度の特長

- 1 掛金の10倍の範囲内で**最高8,000万円**まで貸付け
「回収困難となった売掛金債権等の額」と「掛金総額の10倍に相当する額(最高8,000万円)」のいずれか少ない額となります。償還期間は共済金の貸付金額に応じて5年～7年(償還期間6か月を含む)で毎月均等償還です。
- 2 貸付条件は**無担保・無保証人**
共済金の貸付けは、「無担保・無保証人」「無利子」です。ただし、共済金の貸付けを受けると貸付額の10分の1に相当する額が積み立てた掛金総額から控除されます。
- 3 掛金は**税法上損金(法人)または必要経費(個人事業)**に
掛金月額額は、5千円～20万円の範囲内(5千円単位)で自由に選べます。



経営セーフティ共済 検索



Be a Great Small. 中小機構

緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちの環境学習などに活用しています。ご協力いただける場合は、次の方法でお願いいたします。

ご協力の仕方

- 郵便振込(手数料協会負担)
専用の払込取扱票をお送りしますので、兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせください。
- 銀行振込(手数料必要)
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会



公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071

HP <https://hyogo-green.net/> 兵庫県緑化推進協会 検索



事業所の地震・津波リスクに備える

火災共済

ひょうご共済 地震特約 検索

—ひょうごの中小企業を補償でサポート!—



ひょうご共済

兵庫県共済協同組合